

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

接続部耐火試験方法（小型加熱炉）

JCS 7505 : 2020

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

（一社）日本電線工業会

2020年10月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会 耐火・耐熱電線専門委員会の審議によって改正したものであり 2020 年 10 月 20 日から発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 加熱炉	1
4 試験の種類	1
5 試験数	1
6 試験体の準備	2
6.1 ボックスありのもの	2
6.2 ボックスなしのもの	2
7 試験方法	2
7.1 加熱方法	2
7.2 試験項目	3
7.3 試験方法	3
解説	10

接続部耐火試験方法（小型加熱炉）

Fire resistance test methods with small-type furnace for fire proof cable joints

1 適用範囲

この規格は、平成 9 年 12 月 18 日付け消防庁告示第十号（耐火電線の基準：官報号外第 252 号）に規定される低圧耐火ケーブル及び高圧耐火ケーブル（以下、ケーブルという。）の接続部の小型加熱炉において行われる耐火試験方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年を付記していない引用規格は、その最新版を適用する。

- JIS A 1304 建築構造部分の耐火試験方法
JIS C 1602 熱電対
JCS 7502 ケーブル耐火試験方法（小型加熱炉）

3 加熱炉

耐火試験に使用する加熱炉は、JCS 7502 の 3（加熱炉）による。

4 試験の種類

試験の種類は、表 1 による。

表 1—試験の種類

種類	試験方法適用箇条
ボックスあり	6.1
ボックスなし	6.2

5 試験数

試験数は、表 2 による。

表 2—試験数

種類	試験数
ボックスあり	3
ボックスなし	